

Specifications

■ 本体

システム構成	3 way 4 driver system
ウーファー・エンクロージャー	リアポートによるバスレフ方式、Xマテリアル
アッパー・エンクロージャー	リアベント、Xマテリアル+Sマテリアル
ウーファードライバー	2 x 8 inch
ミッドレンジドライバー	1 x 7 inch
ツイータードライバー	1 x 1 inch silk soft dome
能率	90 dB@ 1 watt @ 1 meter @ 1 kHz
定格インピーダンス	4 Ω (最低インピーダンス 2.48Ω@85Hz)
許容最小アンプ出力	25W / channel
再生周波数帯域	20 Hz - 30 kHz @ +/- 3dB Room Average Response
製品寸法	114(h) x 37(w) x 58(d)cm
製品質量	107kg /pc

■ カラーバリエーション

スタンダードカラー	Obsidian Black , Desert Silver , Galaxy Gray , Titanium Brown , Argento Silver
アップグレードカラー	Amarillo Yellow , Classic Orange , Titan Red , Carmon Red , Seafoam Green , Fuji Blanco , Biarritz White , Topaz , Mahogany , Diamond Black , Estoril Blue



## WATT/Puppyからの流れを汲むミドルクラスシステムの頂点。 David Wilsonの名を冠したSASHAシリーズの完成形。

ウイルソン・オーディオのミドルクラスシステムは、元をたどると1985年に設計されたWATTに遡ります。

録音エンジニアとして、現場に可搬できるコンパクトスピーカーシステムを必要としていた David Wilson が自ら使用するモニタースピーカーとしてWATTを設計したのです。

コンパクトなモニタースピーカーであったWATTは小型ゆえに、低音域に対する不満こそありましたが、その時間軸の正確性による見通しの良い音像定位により、多くの方々から販売を望む要望が寄せられ、David Wilson はWATTを販売することを決断いたしました。

その後1989年に、WATTに組み合わせるウーファーモジュールのPuppyをリリースし、「WATT/Puppy」のコンビネーションが生まれます。「WATT/Puppy」は大ベストセラーとなり、「System5」から「System8」までの進化を遂げます。

その後2009年にSystem8まで進化した「WATT/Puppy」はSASHAシリーズへと飛躍します。



「WATT/Puppy」はあくまで「コンパクトモニター」+「ウーファーモジュール」というスタイルを崩しておらず、「WATT」単体での使用も視野に入れた製品作りでしたが、SASHAではこの大前提を見直しました。つまり、SASHAは最初から3ウェイシステムを前提として設計全体をやり直したのです。

SASHAは2013年にSASHA2へと進化し、スピーカーを構成するすべての要素についての弛まぬ研究開発を続けた結果、最新テクノロジーを製品に導入することで、さらなるダイナミックレンジと深いベースサウンドを実現し、タイムドメインの正確性をさらに引き出す新たな境地に達しました。

そして、2018年に3世代目のSASHAが誕生し、設計者がDavid Wilson から、後継者の Daryl Wilson に変わりました。

現設計者Daryl Wilsonは、この新たな作品に本年惜しくも逝去したDavid A Wilson(DAW)の名を冠しました。

30年の時を経ても陳腐化することのない優れたプラットフォームを生み出した父、Davidに対するリスペクトと、彼の恥じない製品に仕上がった自信の表れです。



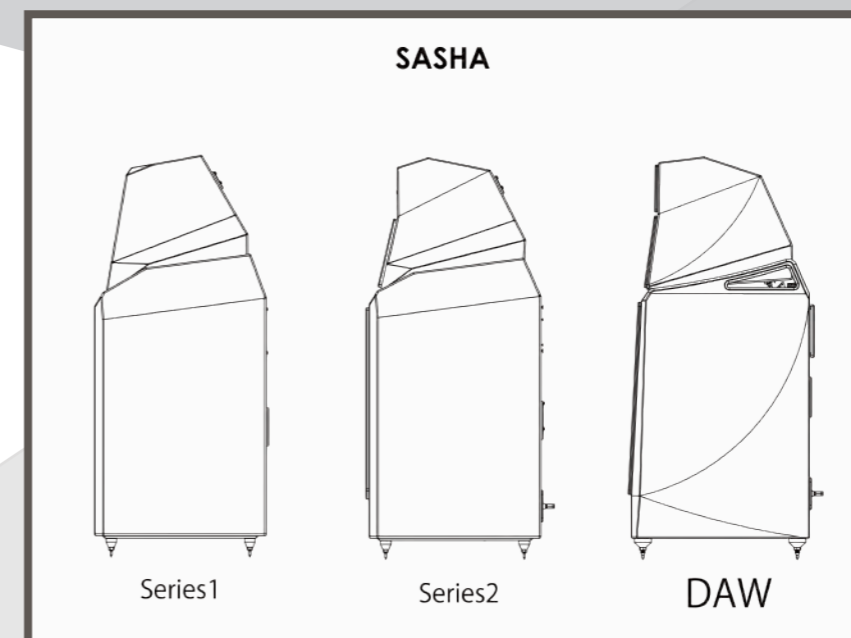
### 全く新しく再設計されたベースユニット

後継者である Daryl のベースユニットに対するアプローチは、基本は父の David と同じ方向ですが、Darylの方が徹底していると言えます。ウイルソン・オーディオではエンクロージャーの共振・共鳴を嫌い、伝統的に内部損失が高く剛性が高い複合材をエンクロージャーに採用していますが、この材質とて、他の材質よりはるかに優れているものの、理想的なものとは言えません。

そこでSASHA DAW では、従来から採用している優れたエンクロージャー材である X-Material の板厚をさらに上げ、ただでさえ共振・共鳴しにくいエンクロージャーをさらに磐石なものとししました。

また、エンクロージャー内部のブレーシングを最適化し内部容積を13%ほど増加しています。

ふたつの8 inch ウーファードライバーはあえて軽量な振動系を採用していますが、強靱なエンクロージャーと十分な内容積を従え、深いベースサウンドを驚くべき軽やかさで再生いたします。



### On time

SASHA DAW では「WATT/Puppy」からの伝統で、ツイーターとミッドレンジを収めるアッパーモジュールをベースユニットから独立させています。

アッパーモジュールは、リスニングポイントの高さと距離に応じて最適に前後位置と角度をアジャストすることにより、リスニングポイントでのタイムアライメントを最適化させることができます。

すべてのドライバーユニットからの到達時間をコントロールすることこそが、サウンドのリアリティを高めることを可能にします。